



祝賀パーティの会場

I・A・B・Cの創立十周年を迎えられブラジル・サンガからお慶びを申し上げます。異なる人種、異なる国、異なる文化が出会い、互いに交流する現代、仏教の国際化における貴協会の貢献は、まことに重要なものがあります。

この貴重な努力が私たち一人ひとりに良き模範となり、同信の友がいつそう増えることを念願いたします。将来、世界中の仏教徒がこの遺産を受け継ぐことでしよう。合掌

◆A・エンジエスカ女史

ポーランド真宗グループの代表。医学博士。現在、横浜に住み、ポーランド代表をエヴァ女史に継承、本国との連携とともに聖典のポーランド語訳に傾注する。



本の真宗者（徳永師ら）とお会いし、その直後、故山崎昭見先生より手紙をいただき「ポーランド代表に」とのお言葉でした。でも「真宗の教義も何も知りませんので不適でしょう」と答えると、早速数冊の英文聖典を送って下さり、「大事なことは真宗を学究するより、お念仏に生きること」とのお言葉でした。この一通の手紙によって、欧州真宗会議にも出席することになり、結婚して日本に住むことになりました。大変なことでしたが、これも如来のお働きのもとに自然の流れでした。



謝辞を述べる
豊原大潤理事



祝辞を述べる
藤音本願寺総長

創立十周年をお祝い申し上げます。六年前に初めてワルシャワで日本の真宗者（徳永師ら）とお会いし、その直後、故山崎昭見先生より手紙をいただき「ポーランド代表に」とのお言葉でした。でも「真宗の教義も何も知りませんので不適でしょう」と答えると、早速数冊の英文聖典を送って下さり、「大事なことは真宗を学究するより、お念仏に生きること」とのお言葉でした。この一通の手紙によって、欧州真宗会議にも出席することになり、結婚して日本に住むことになりました。大変なことでしたが、これも如来のお働きのもとに自然の流れでした。

◆K・オサカ女

アフリカ・ケニヤ、医療福祉と建設して、真宗拠点を作る。仏その支援を熱望



ケニヤにいます。私は、ケニヤ